

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	休日在宅当番医事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	2. 医療
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民の方が休日の日中に急に発病しても安心して医療が受けられるようにする				
内容	日曜、祝日、年末年始の9:30～16:00まで、当番制により、市内の1医療機関が診療を行う				
種別	自治事務(任意)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	開設日数	急な発病やケガの治療をするため 開設した日数	目標	71	71	71	日			
			実績	71	71					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	受診者数	治療を受けた人	目標	700	1,000	1,000	人			
			実績	1,327	1,265					
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	4,565		4,975		4,975		4,975		4,975	
	事業経費		3,335		3,335		3,335		3,335	
	特定財源		884		884		884		884	
	従事常勤職員数		0.15		0.20		0.20		0.20	
	従事非常勤職員数		0.00		0.00		0.00		0.00	
	概算人件費		1,230		1,640		1,640		1,640	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	事業を廃止した場合、休日・年末年始に市内で初期救急医療を受けられなくなる
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	真壁医師会下妻支部に協力依頼している
	有効性	指標の実績	達成できた	計画どおりに診療体制を提供できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	地域医療確保・充実のため削減の余地なし
総合評価	費用対効果	効果あり	最少の経費で指標の目標を達成できた	
	手段の妥当性	妥当	市民が日頃通院している医療機関の協力を得ている	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市内の医療機関に休日・年末年始の診療をお願いしているため、回数も多く、日程調整が難しい状況が発生している
今後の取組み	真壁医師会下妻支部に協力を求め、休日・年末年始における診療体制を整備する

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	脳検診助成事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	疾病の早期発見と重症化を防止する。また、早期発見により医療費の削減につなげる。				
内容	医療機関で受診後、受診料の1/2(限度額15,000円)を補助する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	補助金申請者数	脳検診の補助金申請者数	目標	100	100	100	人			
			実績	100	100					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	補助した人数	脳検診の受診料を補助した人数	目標	100	100	100	人			
			実績	73	73					
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健対策推進費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	3,451		2,726		3,198		3,198		3,198	
事業経費	1,040		1,053		1,525		1,525		1,525	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.29		0.20		0.20		0.20		0.20	
従事非常勤職員数	0.01		0.01		0.01		0.01		0.01	
概算人件費	2,411		1,673		1,673		1,673		1,673	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	脳血管疾患等の病気の発症リスクを早期に発見するため
		対象の適切性	適切	40歳以降が脳腫瘍や脳血管疾患(脳卒中など)のリスクが高まるため
		主体の妥当性	市が推進すべき	一部費用助成をすることで、脳の病気を早期発見するため必要
	有効性	指標の実績	達成できた	脳検診後の申請者に費用の一部助成を実施できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり	脳検診により脳血管疾患等の早期治療や生活習慣の改善につながった	
	手段の妥当性	妥当	脳検診後に費用の一部を助成するため効率が良い	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	対象年齢が40歳から75歳未満となっているが、若い年代の申請が少ない。若い世代向けのSNSの積極的な活用方法が課題。
今後の取組み	多くの市民が参加しやすくするため、窓口、電子、郵送による申請を継続する。申請期間が短いため、多くの市民の目に留まるよう、広報紙以外に市ホームページや公式LINEを活用した周知を強化していく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	住民健康診査・がん検診事業							健康づくり
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健		成人保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を						

1. 事業の概要(Plan)

目的	疾病の早期発見及び重症化防止、また健康診査の結果を生活習慣改善のきっかけとし、健康づくり・維持につなげる。				
内容	基本健診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診の実施				
種別	自治事務(義務あり)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健対策推進費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	70,467		73,049		80,862		80,862		80,862	
	事業経費		54,550		58,851		66,664		66,664	
	特定財源		8,576		11,083		11,907		11,907	
	従事常勤職員数		1.76		1.49		1.49		1.49	
	従事非常勤職員数		0.45		0.60		0.60		0.60	
	概算人件費		15,917		14,198		14,198		14,198	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	アウトソーシング可能	健診業務自体は、ほぼ外部委託
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	受診率が向上するほど委託料が増加する
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		見直しの余地あり	勧奨手段・内容について見直す余地あり
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	より多くの市民が健康問題を早期に解決できるよう受診率の向上を図る。令和6年度から市公式LINEによる受診予約を開始したが、LINEによる予約者数は、電話予約より少ない。LINE予約の周知及びマニュアルの整備が必要。
今後の取組み	積極的な受診勧奨を行い、継続受診だけでなく、初回受診者数も増やしていく。LINE予約のマニュアルを整備し、簡単に健診予約ができることを周知する。健診機会の少ない若年者にも健診を勧奨し、生活習慣病予防の意識の普及啓発を図る。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	しもつま元気ポイント事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	健康寿命の延伸の実現を目指し、市民の健康増進と健康意識の向上を図る				
内容	健診等の受診、健康教室への参加、健康的な生活習慣の取組みに対しポイントを付与。100ポイント毎に利用券・抽選券と交換し、協力店舗でサービスを受ける。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	カード発行部数	健康ポイント事業であるしもつま元気ポイント事業の参加者数	目標	100	120	120	人			
			実績	131	104					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	100ポイント到達者数	抽選会参加条件である100ポイント以上を保有している人数	目標	300	400	400	人			
			実績	522	434					
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健対策推進費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	4,596		4,008		3,783		4,722		3,736	
事業経費	1,508		1,590		1,365		2,304		1,318	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.28		0.15		0.15		0.15		0.15	
従事非常勤職員数	0.24		0.36		0.36		0.36		0.36	
概算人件費	3,088		2,418		2,418		2,418		2,418	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	ポイントを貯めるため、市民が生活習慣の改善等に取り組んでいる
		対象の適切性	適切	高齢者の参加が最も高く、介護予防につながっている
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	ポイント付与のシステム管理を一部委託
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	新規会員数が増加した
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	システム管理の経費は必要
総合評価	費用対効果	効果あり		新規会員数とポイント保有者数が達成できた
	手段の妥当性	妥当		ポイント記録表による管理と抽選会開催は必要
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	新規申込やポイント付与の手続きは、健康づくり課窓口への来所が必要な状況。今後、若い世代の会員数を増やすために、電子申請や郵送での手続き方法の導入が必要。
今後の取組み	カード発行者の多くの市民が、ポイント付与を目的に健康づくりに取り組む働きかけを行う。また、若い世代をターゲットとした電子申請の整備に取り組む。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	生活習慣病重症化予防事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	生活習慣病の予防及び生活習慣病患者の増加を防ぎ、健康増進を図る。				
内容	特定健診受診後の事後指導や健康教室、健康教育、健康相談等を行う。				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
予算科目	区分	国保特会	款	4 保健事業費(国保)	項	2 保健事業費	目	2 疾病予防費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	3,902		1,656		3,212		3,212		3,212	
	事業経費		457		341		587		587	
	特定財源		457		341		613		613	
	従事常勤職員数		0.40		0.10		0.30		0.30	
	従事非常勤職員数		0.05		0.15		0.05		0.05	
	概算人件費		3,445		1,315		2,625		2,625	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門的な知識を必要とし、市の健康課題に合わせた指導を行うため。
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最低経費で運用中。
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	国民健康保険医療費の課題を分析。結果に基づいて事業を計画・実行中。
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	国民健康保険加入者の健康問題を改善するため、事業を見直し課題にあわせた講座を計画、実施した。アンケートの結果、参加者の9割は生活を改善したいと答えており、質の高い内容であったが、ターゲット層の参加が計画していた人数に満たなかった。
今後の取組み	重症化リスクの高い者に対する指導を続けるとともに、市民が自分の健康に関心を持てるよう、更なる参加促進策とターゲット層へのアプローチ強化を実施していく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	住民健康教育・相談事業					保健福祉部
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	健康づくり課
					1. 保健	成人保健係
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民が自分の健康に関心をもち、健康増進・疾病予防に関する正しい知識を獲得し、規則正しい生活習慣を送ることができる				
内容	多くの市民を対象とした、健康教育、健康教室、相談事業を行う				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	健康教育等回数	健康教育健康教室、健康相談の開催日数	目標	70	70	115		日	
			実績	117	128				
成果指標	指標名		説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	参加人数	健康教育健康教室、健康相談の参加者数	目標	3,000	3,000	2,200		人	
			実績	2,102	2,140				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健対策推進費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	5,027		3,451		5,993		5,977		5,957
事業経費	400		318		494		478		458
特定財源	124		167		254		254		254
従事常勤職員数	0.52		0.37		0.57		0.57		0.57
従事非常勤職員数	0.11		0.03		0.25		0.25		0.25
概算人件費	4,627		3,133		5,499		5,499		5,499

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	事業を廃止した場合、市民の健康寿命の延伸に影響を及ぼす
		対象の適切性	適切	多くの市民が参加できるため変更の余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門職の知識を必要とするため
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	計画通りの事業を展開できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	大半を直営で運営しており、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で多くの市民に目標を達成できた	
	手段の妥当性	妥当	市の健康課題を解決するための事業内容である	
	事業の方針	継続	現状維持	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	生活習慣病の予防を目的とした、運動教室・集団健康教育・講演会に加え、新たな取り組みとして男性向け料理教室を2回開催。新たな参加者の拡大に向けた取り組みが必要。
今後の取組み	市の健康課題を解決するために、ライフステージや対象にあわせた効果的な健康教育、運動教室、健康相談事業等を実施していく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	特定保健指導事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	メタボリックシンドローム該当と予備軍該当の対象者に食事や運動の指導を実施し、生活習慣病を予防する				
内容	特定保健指導を健康づくり課の専門職または委託業者が4か月実施し、メタボからの脱出を支援する				
種別	法定受託事務	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
予算科目		区分	国保特会	款	4 保健事業費(国保)	項	1 特定健康診査等事業費	目	1 特定健康診査等事業費	
事業費(千円)		R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費		8,218		11,422		11,719		11,719		11,719
事業経費		1,868		2,119		3,189		3,189		3,189
特定財源		0		0		0		0		0
従事常勤職員数		0.71		1.05		1.00		1.00		1.00
従事非常勤職員数		0.16		0.21		0.10		0.10		0.10
概算人件費		6,350		9,303		8,530		8,530		8,530

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門知識を必要とし、市の健康課題にあわせた指導をするため
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	国民健康保険医療費の課題を分析し、結果に基づいて事業を計画・実行している
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	特定保健指導の利用率向上を目指し、健診当日の初回面接を平成30年度より導入するも、若い世代や毎年連続して参加する者が増えない。令和5年度途中からICTを活用とした保健指導も試みたが、参加率の向上につながらなかった。
今後の取組み	引き続き、健診当日の保健指導面談では、過去の指導情報を事前に準備し面談時間の短縮を図る。特定保健指導の参加を希望しない者に対し、健診当日の支援計画作成を促す。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	食育推進事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		2	飢餓をゼロに	

1. 事業の概要(Plan)

目的	食育を推進することで健康に過ごすための食の選択ができる知識の普及と実践ができる市民を増やす				
内容	世代別に健康を維持するための食生活について啓発普及するとともに、食育の推進ができる環境を整える				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位		
	しもつま食育ネットワークの開催数	しもつま食育ネットワークで、食育の取り組みを検討・実践した日数	目標	5	5	5	日		
			実績	5	5				
成果指標	指標名	説明	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位		
	食育チラシや資料を配布した施設数	しもつま食育ネットワークの食育活動で、その年のテーマに沿って作成したチラシや資料を配布した施設数	目標	9	9	9	箇所		
			実績	11	12				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	3,950		1,062		1,071		1,071		1,071
事業経費	10		11		20		20		20
特定財源	0		0		0		0		0
従事常勤職員数	0.40		0.10		0.10		0.10		0.10
従事非常勤職員数	0.20		0.07		0.07		0.07		0.07
概算人件費	3,940		1,051		1,051		1,051		1,051

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	子どもの健やかな成長、市民の健康増進のために必要
		対象の適切性	改善の余地あり	食育に関心を持つ市民を増やす必要がある
		主体の妥当性	市が推進すべき	生涯にわたって食育を推進するために必要
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	健康課題解消のための取り組みに向けて検討できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低経費である
総合評価	費用対効果	効果あり		関連した施設では関心を高め、取り組みを行うことができた
	手段の妥当性	見直しの余地あり		市全体としての評価をする必要がある
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	肥満傾向の児童の増加、学校給食では噛み応えのある食材や魚などの和食の残食が増えている。朝食や偏食、噛むことに関するアンケートを実施したが、回収率が低かった。健康的な体を育み、維持するために重要な食育への関心を高めていく取り組みが必要。
今後の取組み	学校や保育所など、食育に関わる施設や団体と市の健康課題を共有し、それぞれの活動を支援していく。保護者に対し、現状と課題を伝えることで食への関心を高めてもらい、家族が健康に過ごせる働きかけを継続していく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	高齢者の保健と介護の一体的事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	後期高齢者が健やかに過ごせるよう、生活習慣病の予防及び改善を支援し、健康増進を図る				
内容	健康診断後の事後指導、健康相談、健康状態不明者の把握、低栄養予防対策を行う				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健対策推進費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	3,277		7,123		4,045		4,015		4,015	
事業経費	79		67		105		75		75	
特定財源	79		67		105		75		75	
従事常勤職員数	0.39		0.78		0.40		0.40		0.40	
従事非常勤職員数	0.00		0.20		0.20		0.20		0.20	
概算人件費	3,198		7,056		3,940		3,940		3,940	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門職の知識を必要とするため
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	直営で実施しており、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	後期高齢者の健康課題を解決するための事業内容である
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	後期高齢者の生活習慣病の重症化予防を目的に事業を実施しているが、事業内容によっては、対象者及び参加者が少ない。
今後の取組み	後期高齢者が住み慣れた地域で健やかに過ごせるよう、対象者が参加しやすい事業を実施し、健康づくりを支援する。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
成人保健係

事務事業名	献血推進事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	2. 健康づくり、医療	分野	1. 保健
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を				

1. 事業の概要(Plan)

目的	県内の医療に必要な輸血用血液を、献血により確保できる「血液自給」体制の確立を目指し、市民に理解と協力をして頂き、献血推進を図る。				
内容	安全な血液を安定的に確保するため、献血の必要性などを普及啓発し、多くの事業者が協力機関となるように事業主等への普及啓発を進めていく。				
種別	法定受託事務	主体	その他	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
				目標				
				実績				
成果指標	指標名	説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
				目標				
				実績				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
事業費(千円)	R5決算額	R6決算額	R7予算額	R8予定額	R9予定額			
総事業費	2,020	3,250	3,250	3,250	3,250			
事業経費	380	380	380	380	380			
特定財源	190	190	190	190	190			
従事常勤職員数	0.20	0.35	0.35	0.35	0.35			
従事非常勤職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
概算人件費	1,640	2,870	2,870	2,870	2,870			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	献血の必要性を普及啓発し、多くの協力者確保が必要のため。
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	献血実施に必要な記念品購入のため、削減の余地なし。
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	献血協力者の増加に、市報等を用いた情報発信や記念品の用意が必要のため。
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	献血協力者の多くが40代や50代の方となっており、高齢になるにつれて協力者の減少が見込まれる。若年層の献血者割合が少なく、協力者数も減少を続けている。また、コロナ禍以前と比較して献血の会場が少なくなっている。
今後の取組み	献血に関する情報発信を市報等を用いて行い、若年層の献血への関心を高める。また、赤十字血液センターの担当者と連携し、献血に協力いただける団体や会場の新規開拓を行い、事業の拡大につなげる。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	予防接種事業				
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉 基本	2. 健康づくり、医療 分野	1. 保健	
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを

1. 事業の概要(Plan)

目的	感染のおそれがある疾患の発生及びまん延を防ぐために予防接種を行い、公衆衛生の向上に寄与するとともに予防接種法による迅速な救済を図る				
内容	個別接種(五種混合、四種混合、BCG、麻しん風しん、日本脳炎、肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん、水痘、二種混合、インフルエンザ、B型肝炎、ロタ、おたふく、高齢者肺炎球菌、コロナ)				
種別	自治事務(義務あり)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
			目標				
			実績				
成果指標	指標名	説明	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
			目標				
			実績				
予算科目	区分	款	項	目			
事業費(千円)	R5決算額	R6決算額	R7予算額	R8予定額	R9予定額		
総事業費	108,560	143,735	213,148	213,148	213,148		
事業経費	99,197	131,081	200,494	200,494	200,494		
特定財源	186	12,174	0	0	0		
従事常勤職員数	0.84	1.35	1.35	1.35	1.35		
従事非常勤職員数	0.75	0.48	0.48	0.48	0.48		
概算人件費	9,363	12,654	12,654	12,654	12,654		

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	予防接種法に基づいた事業であり、感染症予防対策の上で重要である
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	県内医療機関で接種でき利便性が図れている
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	適切な時期に予防接種をしていない者がおり、感染症の発生やまん延する可能性がある。
今後の取組み	未接種の者に対し、積極的勧奨を対象年齢制限間際まで行い、集団感染の防止に努める。また、定期予防接種対象者への周知、接種勧奨の対応を充実させる。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	乳幼児健康診査事業(1歳6か月児・3歳児)					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	1. 出産、子育て	分野	1. 子育て
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを	

1. 事業の概要(Plan)

目的	身体発育・精神発達を確認し、その結果に基づいて適切な保健指導、育児支援を行う。				
内容	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査				
種別	法定受託事務	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
						目標				
						実績				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	12,051		13,804		13,966		13,966		13,966	
事業経費	2,562		2,307		2,469		2,469		2,469	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.96		1.06		1.06		1.06		1.06	
従事非常勤職員数	0.49		0.85		0.85		0.85		0.85	
概算人件費	9,489		11,497		11,497		11,497		11,497	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	児の発育発達を確認する重要な機会である
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	個別支援が必要と判断した児への連携体制が整っている
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	1.6歳児健診、3歳児健診は法定健診であるため受診率100%を目指し、受診勧奨の通知を送るなどしているが、受診しない児がおり、対応に困っている。
今後の取組み	乳幼児の身体発育や発達の状態を確認し、疾病や異常を早期発見した場合は職員間で情報を共有し、支援につなげる体制を整える。未受診者には受診勧奨や家庭訪問、関係機関と情報共有をし、児の安否や発育発達を把握する。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	母子保健教育・相談事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	1. 出産、子育て	分野	1. 子育て
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		4	質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを

1. 事業の概要(Plan)

目的	すべての子どもが健やかに育つことができるように安心して子育てができる環境を作る				
内容	乳幼児とその保護者への健康教育・相談・発育発達の専門的な相談や指導を行う				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
					目標				
					実績				
成果指標	指標名	説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
					目標				
					実績				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	7,797		8,165		9,041		9,041		9,041
事業経費	2,219		2,666		1,562		1,562		1,562
特定財源	0		0		0		0		0
従事常勤職員数	0.64		0.57		0.57		0.57		0.57
従事非常勤職員数	0.10		0.25		0.85		0.85		0.85
概算人件費	5,578		5,499		7,479		7,479		7,479

3. 事業の評価、今後の方向性

(1)事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	専門職による制作的意思決定を必要とするため
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果、現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性	妥当	親子を取り巻く社会情勢やニーズを踏まえ内容を見直す必要あり	
	事業の方針			

(2)事業の方向性(Action)

現状の課題	親子に関する健康教育を実施しているが、定員に達しないことがある。児の特性や保護者の相談に合わせた、発達相談や発達支援教室を開催しているが、ニーズが高いものに関しては、予約が取りにくい状況である。
今後の取組み	子育てに関する情報の普及を目的とし、講座や教室を行う。また、保護者の悩みや不安の減少、対象児の発育発達を促すような、発達支援を行う。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業名	5歳児発達相談・5歳児キッズ事業					保健福祉部
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	1. 出産、子育て	分野	健康づくり課
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを	母子保健係

1. 事業の概要(Plan)

目的	子どもの多動性や対人関係の苦手さにより子育てに困難感を持つ保護者に対し、子どもの特性への気づき、関り方の理解を促す				
内容	市内在住の全年中児を対象に発達相談を実施し、要相談者を5歳児キッズや関係機関等へつなぐ				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	実施回数		5歳児発達相談(5歳児健診)・5歳児キッズの実施回数			目標	41	41	43	回
						実績	41	39		
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	受診率		5歳児発達相談(5歳児健診)受診率			目標	97	100	100	%
						実績	99	99		
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	4,230		8,862		9,640		9,640		9,640	
事業経費	949		988		1,766		1,766		1,766	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.38		0.92		0.92		0.92		0.92	
従事非常勤職員数	0.05		0.10		0.10		0.10		0.10	
概算人件費	3,281		7,874		7,874		7,874		7,874	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1)事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	集団生活で特徴が表れる発達障害は、3歳児健診ではわかりにくいため必要
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地なし
		主体の妥当性	市が推進すべき	民間で実施している場がない
	有効性	指標の実績	達成できた	実績、受診率ともに期待した効果があった
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標を達成している
	手段の妥当性	妥当		当市の人口規模にあった手段が取れている
	事業の方針	継続		現状維持

(2)事業の方向性(Action)

現状の課題	5歳児発達相談では、案内しても相談を受けないため、実態を把握できない幼児が何名かいる。また、5歳児キッズ対象になっても、参加しない幼児もあり、支援ができない。
今後の取組み	令和7年度から、5歳児発達相談が5歳児健診となり医師の診察が加わる。これにより、医学的知見も含めた診断ができるようになるため、支援が必要な幼児に対しより良いフォローアップ体制を構築していく。また、5歳児健診・5歳児キッズに参加していない幼児に対し、受診勧奨をしていく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	ペアレントトレーニング事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	1. 出産、子育て	分野	1. 子育て
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを	

1. 事業の概要(Plan)

目的	子育て中の保護者が自信をもって子育てを行うことで親子関係を安定させ、児童虐待の防止につなげる				
内容	親が子供に分かりやすい具体的で効果的なほめ方や指示の仕方を学び、スキルを身につけることで子どもの行動変容を促し、子育ての困りごとの解消を目指す				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	実施回数	ペアレントトレーニング実施回数	目標	11	11	11	回		
			実績	11	11				
成果指標	指標名		説明		年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	自信度のアップ率	自信度がアップした人数の割合	目標	100	100	100	%		
			実績	60	90				
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費	
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額
総事業費	2,955		3,096		3,096		3,096		3,096
事業経費	216		225		225		225		225
特定財源	0		0		0		0		0
従事常勤職員数	0.33		0.33		0.33		0.33		0.33
従事非常勤職員数	0.01		0.05		0.05		0.05		0.05
概算人件費	2,739		2,871		2,871		2,871		2,871

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	社会情勢をふまえても必要性が高い
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	民間で実施している場がなく、また出生時からの親子関係を把握しているため
	有効性	指標の実績	達成できた	想定通りのサービスが提供できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果現状が最低経費
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標を達成
	手段の妥当性	妥当		育児不安のある親同士の交流もでき、親が子に対して適切な対応を学ぶことができるため
	事業の方針	継続		

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	1クール5名で5回コースで実施しているが、参加申し込みが少なく、参加しても途中で参加できなくなってしまう方もいる。
今後の取組み	参加された方は満足度が高く、評価も高いので、継続して丁寧に関わっていく。参加申し込みについては乳幼児健診等で事業の周知を図り、参加申し込みの増加につなげていく。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

保健福祉部
健康づくり課
母子保健係

事務事業名	母子保健推進事業					
総合計画の体系	目標	1. 子育て、医療、社会福祉	基本	1. 出産、子育て	分野	1. 子育て
SDGs目標	3	すべての人に健康と福祉を		11	住み続けられるまちづくりを	

1. 事業の概要(Plan)

目的	子どもの健やかな成長を支援するため、子育てができる環境づくりを行う				
内容	母子保健推進協議会員による親子のふれあいや親同士が交流・仲間づくりができる場、そして母子保健推進員との世代間交流ができる場を提供する				
種別	自治事務(任意)	主体	外部委託	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	提供した場の数	親子のふれあい、親同士の交流の場、世代間交流を実施した回数			目標	1	3	3	回	
					実績	1	3			
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位
	参加者数	親子遊びの広場の参加者 保護者が参加する健康教室の保育利用人数			目標	100	150	150	人	
					実績	260	153			
予算科目	区分	一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子衛生費		
事業費(千円)	R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費	2,692		2,136		2,236		2,236		2,236	
	事業経費		150		250		350		350	
	特定財源		0		0		0		0	
	従事常勤職員数		0.31		0.23		0.23		0.23	
	従事非常勤職員数		0.00		0.00		0.00		0.00	
	概算人件費		2,542		1,886		1,886		1,886	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	一定程度見込まれる	子育て世代と行政のパイプ役として必要
		対象の適切性	適切	対象者を変更する余地はない
		主体の妥当性	市が推進すべき	行政ではできない部分を担うため
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	計画通りのサービスが提供できた
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討した結果現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果	効果あり		最小経費で目標を達成できた
	手段の妥当性	妥当		市と協力して実施できるため
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	子育て支援として、親同士の交流の場を提供しているが、単発の開催となり十分な場の提供が難しい。
今後の取組み	今後も、子どもや保護者が楽しめる場を提供していけるよう、開催回数や事業内容について検討していく。またほかの団体とも協働してできることはないか検討していきたい。

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)

令和7年度 事務事業評価シート(令和6年度実績)										保健福祉部	
事務事業名		新型コロナウイルスワクチン接種事業								健康づくり課	
総合計画の体系		目標	1. 子育て、医療、社会福祉		基本	2. 健康づくり、医療		分野	1. 保健		母子保健係
SDGs目標		3	すべての人に健康と福祉を								

1. 事業の概要(Plan)

目的	令和5年度をもって終了した特例臨時接種事業における残務処理を適確に実施する				
内容	新型コロナウイルスワクチン接種事業				
種別	法定受託事務	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	
						目標					
						実績					
成果指標	指標名		説明			年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	
						目標					
						実績					
予算科目		区分	一般会計		款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費	
事業費(千円)		R5決算額		R6決算額		R7予算額		R8予定額		R9予定額	
総事業費		137,815		3,308		0		0		0	
事業経費		118,439		306		0		0		0	
特定財源		152,945		1,211		0		0		0	
従事常勤職員数		1.88		0.35		0.00		0.00		0.00	
従事非常勤職員数		1.20		0.04		0.00		0.00		0.00	
概算人件費		19,376		3,002		0		0		0	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	社会情勢上、行政主体の意義が大きい
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	比較検討し、現状は最低経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性		妥当	当市の規模では公立が良い実施方法である
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	令和5年度をもって特例臨時接種は終了しており、令和6年度からは高齢者へのB類定期予防接種に変更となっている。
今後の取組み	事業終了